

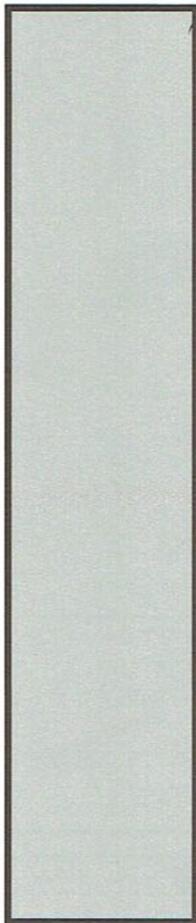
俺はゆうくと
そういうアレだった。



常に仕事の事を
考えていつも
1回だけで
終わりにしてさ...











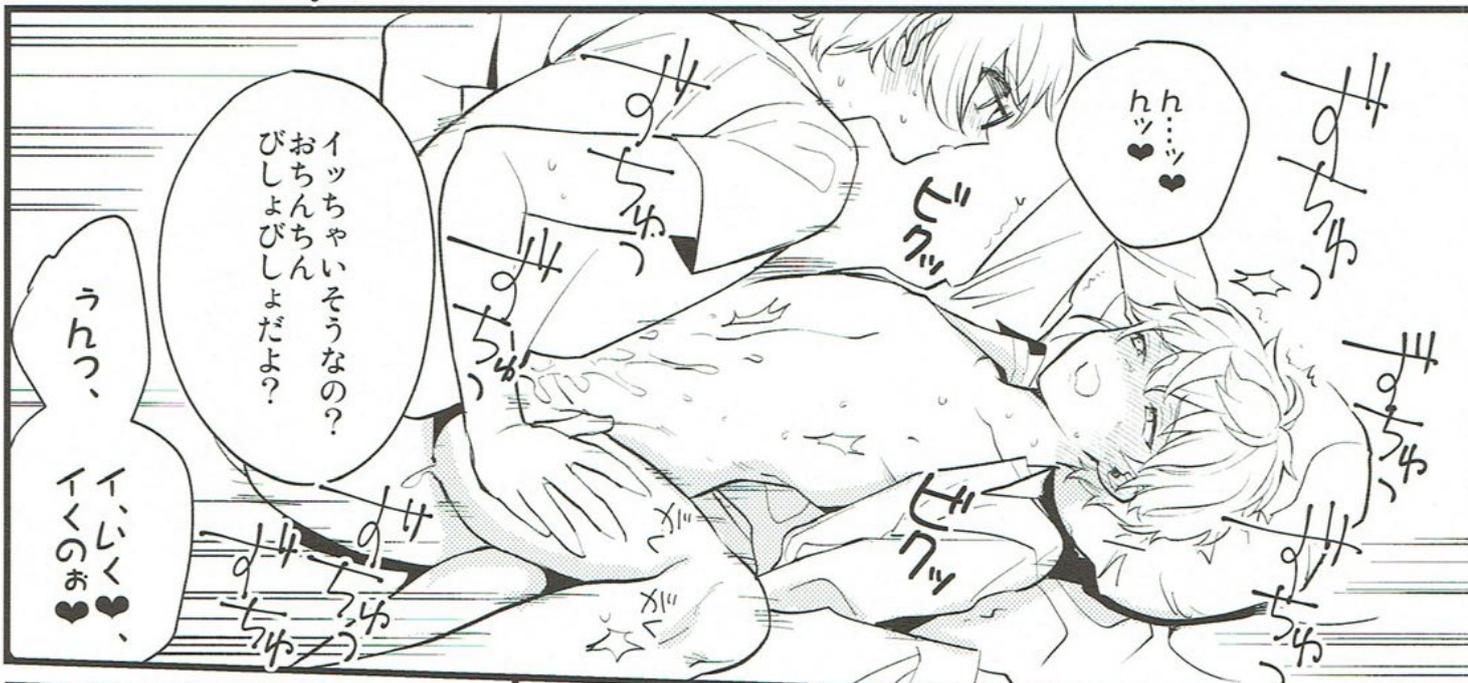
あ

あ

泉さん、
奥も気持ちよく
なってきたの？

わか、ん、
…なあ…ッ

ふくん…？
一度お尻でいくと
感じやすくなるのかなあ
僕のデータベースに
記録しておくね♪



んっ
♡♡♡

イッチやいそうなの？
おちんちん
びしょびしょだよ？

うんっ、

イ、いく♡
♡のあ



ごめんね…

もうちょっと
待って…



うあっ!?

淫乱みたいでいいに
言わないで!

ゆうくんと
抱き合っていると
仕事のストレスが
リセットされるんだよお

でも最近会う度に
してるけど、
本当に身体
平気なの?

…平気じゃ
ないよお

いつもゆうくんを
思い出すと、

ココ、
せつなく
なっちゃうの…♡

…絶対なんか
おかしく
なってるよね!?

でも
あつきいよお…

あつき♡

じゃなくて!

ぱか〜ん♡



あまりにも時間がなかったので後半をばっさりカットしたら
中出し完落ち泉本になりました。
最後まで読んでいただきありがとうございました。

『セクションマッサカリ』
発行日:2018/02/25 印刷:
発行者:気楽にいこうぜ/湯しま
tokyotio@yahoo.co.jp
pixivID:115556
無断転載、複製、転載、フリマアプリ・オークションへの出品を禁止します。

感想をいただけるととっても嬉しいです→



Ensemble Stars! FANBOOK#4
YUUKI MAKOTO ♥ SENA IZUMI